

令和5年度第1回人間文化研究機構教育研究評議会 議事概要

- 日 時： 令和5年6月14日（水） 10:00～12:05
- 場 所： 日本教育会館 中会議室
- 出席者： 井上、宇田川、神作、木部、栗本、クレインス、酒井、佐藤、設楽、関沢、田中、陀安、西谷、野家、速水、堀、前川、松本、三田村、宮崎、山極、吉田（和）、吉田（憲）、渡部の各評議員
- 陪席者： 若尾理事、小泉監事、二ノ宮監事、丸山事務局長
- 事務局： 監査室長、歴博、国文研、国語研、日文研、地球研及び民博の各管理部長、本部事務局の総務課長、研究企画課長、財務課長、施設課長、その他関係職員

○ 概 要：

議事に先立ち、機構長から、新たに就任した評議員等の紹介があった。また、事務局から、会議の定足数を満たしている旨の報告及び配付資料の確認等があった。

議 題：

（議事概要）

（1）令和4年度第5回議事概要について（資料1）

機構長から、令和4年度第5回教育研究評議会の議事概要について報告があった。

（審議事項）

（1）令和6年度概算要求について（資料2）

宮崎理事から、資料2に基づき、令和6年度概算要求について説明があり、審議の結果、了承された。

また、本件に関し、以下の質問があった。

- ・ 「組織改革に関する事項」の国立国語研究所のE3P-Linguistics センターとはどういうものか。
- ⇒ E3P-Linguistics センターでは、電子化された大量のデータの存在を前提に、実験的な手法と適合性の高い理論をつくり、客観的証拠に基づき、最近の統計モデリングの技法を使って、言語現象の予測を可能とする言語研究を実現する。

（2）人間文化研究機構機構長選考・監察会議委員の選出について（資料3）

機構長から、資料3に基づき、田窪前国語研所長の退任に伴う欠員補充のため、評議会が選出した評議員から機構長選考・監察会議委員1名を選出したい旨の説明があり、審議の結果、前川評議員が選出された。

（報告事項）

（1）第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価の結果について（資料4）

栗本理事から、資料4に基づき、第3期中期目標期間に係る業務の実績に関する評価の結果について報告があった。

また、本件に関し、以下の質問があった。

- ・ 国際的な問題に対する貢献や、世界に日本文化の価値を発信すべきではないか。
- ⇒ 報告書の枠組み自体が国内に向けた貢献についての記述を基本としているが、世界に対する発信についても積極的に言及していきたい。

（2）第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標について（資料5）

栗本理事から、第4期中期目標・中期計画における意欲的な評価指標について報告があった。

(3) 令和4年度活動報告について(資料6)

機構長及び宮崎理事から、資料6に基づき、令和4年度の主な活動について報告があった。また、各機関の長から、令和4年度の各機関の主な活動について、報告があった。

以上